



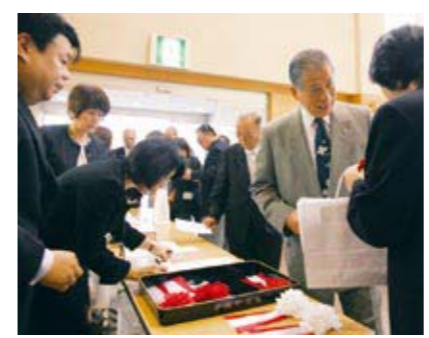
明るく未来へ さらなる飛躍を目指して

福智町合併5周年記念式典

5th anniversary
Fukuchi town

IKKOさんを観光大使に

平成18年3月6日に、赤池・金田・方城の3町が合併して誕生した福智町。その5周年を記念した式典が11月3日に地域交流センターで開催され、関係者など約300人が新町誕生後を振り返り、町政発展への決意を新たにしました。



代議士や田川地域の市町村長も駆けつけた受付

式典は方城中学校吹奏楽部による息のあった演奏で華々しく開幕。浦田弘二町長が「町民の皆様のおかげで5周年を迎えることができました。今後一層、町の一体感を高めていきたい」と挨拶し、来賓から祝辞が送られました。

観光大使任命式では、福智町出身の美容家IKKOさんが、ガラス製の任命状や上野焼の記念品を受け、自身が思う望郷の念と郷土の魅力を書き下ろし、「私らしく好きなものを好きと伝え、その結果が町のためにつながれば素晴らしい」と抱負を語り、会場は将来の町発展に向けた期待感に包まれました。



「ありがとう」など2曲が披露された方城中吹奏楽部によるオープニング。主催者や来賓の挨拶では、さらなる町政発展への願いが述べられました。



観光大使任命式でIKKOさんが「宝づくし」という柄の和装で登場。その後の記者会見で、故郷の魅力と展望に触れ、就任した抱負を語りました。



「町民のこぼ」を発表する沼口富生委員長



記念講演で地域づくりを語る山崎安則教授

福智町民のこぼ発表

式典では、町民憲章策定委員会が答申した「福智町民のこぼ」が発表され、沼口富生委員長が、前文と5項目からなる本文を披露。「心」をテーマにした内容を会場全体が受け止め、町民の心を一つに、さらなるまちづくりの発展へとつなげる思いを共有しました。

最後に、筑紫女学園大学の山崎安則教授が「住民の主体形成と新たなまちづくりへの期待」と題して講演。人と人が支え合う地域づくりの必要性と、求められる地域の将来像に理解を深めました。



式典で披露された「福智町民のこぼ」

福智町民のこぼ

1 前文
福智町は、町の象徴である福智山や日玉山などのゆたかな自然、たえまなく流れをたたえる彦山水系の恩恵と先人の英知にはぐくまれた私たちの愛すべき故郷です。私たちは、手を取りあい、共に立ち、一つになり、まちづくりの想いが心から心へと受けつがれ、輝かしい未来へと発展することを願って、ここに福智町民のこぼを定めます。

【解説】 前段は、豊かな自然や文化への畏敬、先人からの恩恵や今日に至る命の営みに対する感謝の念と愛郷心を明記したものです。後段の「手を取りあい、共に立ち、一つになり」の部分は、新町発足後の一体感の醸成を目指したもので、次の「まちづくりの想いが心から心へと受け継がれ」の部分は、本文が「心」をテーマに構成されていることに関連しています。まとは、この福智町民のこぼが、今このまちに住む人々だけのものではなく、将来や未来に向けた誇りあるものであることを実感しつつ、これからのまちづくりの姿勢を声高らかに宣言することばであることを伝えています。

2 本文
一、ふるさとのゆたかな自然を守り、ともに生きてゆける 心うるおう町をつくりましょう。

【解説】 この文は「自然」「環境」の分野に関連した項目です。本町の特性である豊かな自然を大切に、恵まれた環境を守り育てるだけでなく、自然を活かし、人が生かされ、いで湯の癒しやうらおいを感じられる町づくりの方向性を表しています。

一、たがいを思いやり、ともに支えあい、しあわせに暮らせる 心つながる町をつくりましょう。

【解説】 この文は「人権」「共助」「協働」の分野に関連した項目です。地域のつながりや人間関係が薄れていく社会の中、常に互いの人権を尊重する視点を持ち、共に支え、支えられる相互扶助の関係を再構築し、だれもが幸せに暮らすことができ、心と心が通じ合うまちづくりを目指していくことを表しています。

一、まなびと夢を大切に、かおり高い文化をはぐくむ 心ゆたかな町をつくりましょう。

【解説】 この文は「教育」「教養」「歴史」「文化」「伝統」の分野に関連した項目です。子どもたちの学びを伸ばし、より大きな夢を抱くことへの願いと、大人が将来にわたって夢を持ち続けられる町の姿を示し、町の歴史や伝統をふまえた文化をさらに高めていくことを表しています。

一、平和とやすらぎ、ふれあいと生きがいに満たされる 心すこやかな町をつくりましょう。

【解説】 この文は「平和」「安全」「秩序」「福祉」「健康」の分野に関連した項目です。平和や安全、安心や秩序があってこそ得られる「やすらぎ」。また、ふれあいの場がすぐそばにあり、健康が維持され、福祉環境が満たされてこそ見出せる「生きがい」。すこやかな心が、明るい家庭や地域づくりにつながっていくことを表しています。

一、郷土を愛し、まちの魅力のみがき、未来にほこれる 心ときめく町をつくりましょう。

【解説】 この文は「活力」「産業」「観光」「風土」「愛郷」「展望」などの分野に関連した項目です。まちづくりの基盤となる郷土愛の醸成と、その愛郷心が活力となって町の魅力を磨いていく活性化、将来を担う人材育成を通して、未来に向けた誇りある郷土づくりを目指すことを表わしています。人と町とが秘めた無限の可能性とその開花を示しつつ、この福智町民のこぼ全体の結びとして位置付けています。